

2 コラム RAMPWAY  
泉 麻人

特集 観光

5 日本の観光の強みは何か  
首都大学東京 大学院 都市環境科学研究科 教授  
清水哲夫

9 東京の魅力は何か  
株式会社JTBパブリッシング 取締役  
楓 千里

13 CHALLENGE  
ロボットの活用

14 Taste of the Season  
森下典子

16 首都高HEADLINE

18 business essay  
なぜ人は旅をするのか?  
武庫川女子大学 名誉教授  
高田公理

20 つくる人もる人  
首都高速道路株式会社  
樋田遼一郎  
首都高速道路サービス株式会社  
三浦真史

22 高速百景 中野正貴

cover photo by Kōji Arimitsu  
contents produced by  
Metropolitan Expressway Company Limited



illustration by Takao Nakagawa

column | RAMPWAY 25

首都高名所案内

## 荏原、中延、戸越 のあたり

コラムニスト  
泉 麻人

首都高の目黒線は目黒と五反田の間で山手線を越え、中原街道の荏原と第二京浜の戸越の出入口に枝分かれして終点になる。そのあたりから程近い荏原中延の駅のそばで先日講演の仕事があった。町歩きをテーマにした講演でもあったので、始まる前にちよつと駅前商店街を散策した。南の中延

建物のディテールを見落す。屋根にふさがれてはいるけれど、よく見ると昭和初め頃の看板建築や趣きのある木造の商店なんかがぼつぼつと残っている。いかにも戦前からやってそうな薬局、それから、おっ!と思ったのは人形町水天宮前にあるゼイタク煎餅の支店。そう、このゼイタク煎餅の支店、なぜかこういう城南地区の東急沿線の町によく出店しているのだ。

当日の散歩はほどの所で引き返したけれど、このあたりの商店街は池上線から大井町線、あるいは目黒線の方へと、けっこうしぶとく続いているのがおもしろい。とくに荏原中延の手前、戸越銀座の商店街の景色は壮観だ。西は中原街道の所から、へとごしんごのアーチ看板を掲げた一直線の商店筋が、ずーっと新幹線の架橋の方まで続いている。地図でなぞると、新幹線の下をくぐってさらに大井町の車両工場裏あたりまで道は延びているようだ。

最近、電柱が撤去されて、グッとスマートな感じになった戸越銀座、各地に「銀座」を名乗った商店街は数あれど、ここが第1号という説がある。なんでも関東大震災（大正12年）で被害を受けた、本家銀座のレンガの瓦礫で

駅の方へ向かって歩いていくと、やがてアーケード街が始まる。

山手線の少し外側の町（中野、高円寺、武蔵小山……）には、アーケードの商店街がよくあるけれど、近頃はそんなアーケードの佇まい自体がなつかしい感じになってきた。しかし、全景をぼんやり眺めていると、一つ一つの

湿地を埋め立てて、町の土台を築いたという。ちなみに戸越銀座駅が開設されたのは昭和2年のことだが、そのときすでに町はにぎわいつつあったというから、震災前からそれなりの商店街は形成されていたのかもしれない。

この商店街、もう何度か歩いているが、「喫茶煙草」と看板に掲げた「金田園」という店の印象が強い。喫茶店なのだが、煙草とあるとおり、各テーブルに煙草、しかもマスターの好みのピースが備えられているのだ。「園」の付く屋号もおもしろいが、もとは煙草屋と茶舗の兼業だったと伺った。備えつけのピースを燻らせつつ珈琲を味わったものだが、もう僕も禁煙して5年ぐらい経つ。あの店、健在だろうか。戸越というと、喧嘩な銀座通りのイメージが先行するが、大井町線の駅にある戸越公園は、郊外の清澄庭園とでもいべき本格的な日本庭園。細川家下屋敷から三井家に引き継がれたこの施設は見るべき価値がある。

いずみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。『週刊TVガイド』などの編集者を経て、フリーのコラムニスト。近著に『大東京23区散歩』（講談社）がある。